

町政スポット／鈴木町政2期目がスタート、あさひ未来塾助け合いのまちづくり  
講演会、鈴木治郎さんが厚生労働大臣表彰、町議会議員補欠選挙、  
除雪隊辞令交付式

まちの話題／りんごキャンペーン、楽笑楽生こうざベーコンづくり、第29回  
朝日町産業まつり、菜の花シンポジウム ほか



たのしー！おいしー！ジューシー！

段ボールの薫製器を使った手作りのベーコン  
(11月30日；西部公民館 楽笑楽生こうざ)

※4頁に関連記事

広報

# あさひまち

2008年12月号

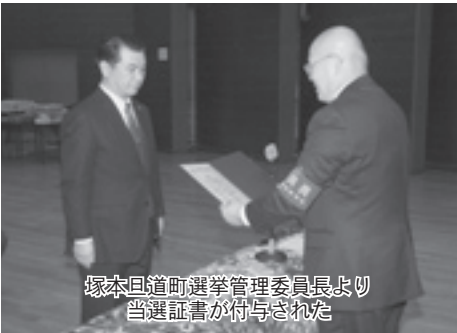
No. 625

朝日町長選挙…鈴木浩幸氏が無投票で再選

# 鈴木町政2期目がスタート

任期満了に伴う朝日町長選挙が11月18日告示されました。現職の鈴木浩幸氏（大町／48歳）以外に立候補の届け出はなく、その結果、同氏の無投票での再選が決まりました。

2期目初日となる12月8日には、全職員に向けて訓示が行われ、鈴木町長は「今年3月に策定した）朝日町第5次総合発展計画の実現に向けて、引き続きがんばっていく。厳しい社会情勢ではあるが、何事にも前に向きに、そしてプラス思考で職務にあたることが大切。これからも力を結集し、町民の皆さんの幸せ、安心安全のために一緒にがんばっていきましょう」と今後の4年間に向け決意を新たにしました。



塚本日道町選挙管理委員長より  
当選証書が付与された

## あさひ未来塾 助け合いのまちづくり講演会

「助け合いのまちづくり」をテーマにした勉強会が11月27日に創遊館で開催されました。あさひ未来塾の塾生が企画したもので、塾生のほか町民約20人が参加。仙台市で高齢者サロンや児童館を運営しているNPO法人『FOR YOU』にここの家』理事長小岩孝子さんを講師に「地域につなげるボランティア活動」について学びました。小岩さんはボランティア活動を始めたきっかけや『にここの家』を立ち上げるまでの経緯、活動内容などを紹介。「何かしてみようという同じ思いを持つ



上げるまでの経緯、活動内容などを紹介。「何かしてみようという同じ思いを持つ

仲間とともに、行政の支援を得ながら運営しています。みんなで手をつないで、支えあう地域になるよう、できることを少しずつ実践していくことが大切ですね」と話しました。

参加者は「朝日町にも高齢者が気軽に集える場所があったらいいな」「ボランティア側も楽しく活動することが大切」などと感想を述べていました。12月9日には仙台市を訪問し、実際の活動を見学。助け合いのまちづくりについてさらに理解を深めました。



## 鈴木治郎さんが 厚生労働大臣表彰



このほど、鈴木治郎さん（元町）に厚生労働大臣より表彰状が贈られました。

鈴木さんは大正11年生まれの現在86歳。昭和63年4

月より今日まで20年以上にわたって、「朝日町宮宿遺族会」「朝日町遺族連合会」の会長を務められているほか、平成16年4月から20年4月までの4年間は県遺族会の副会長も務められるなど、戦没者遺族の援護と福祉の向上に寄与されました。

特に平成15年には、これまで3地区遺族会で挙行されていた戦没者慰霊祭を町戦没者追悼式として一本化。その際、主催者としてその運営に携わるなど、遺族会全体に対する多大な貢献が認められたものです。

朝日町議会議員補欠選挙…2人による選挙戦

柴田喜久雄氏が2回目の当選



11月23日に投開票が行われた町議会議員補欠選挙において、柴田喜久雄氏(助ノ巻/59歳)が当選しました。  
柴田氏は「町民の皆さんの負託に応えられるよう、誠心誠意ががんばりたいと思います。今後ともよろしくお願いたします」と抱負を語りました。

11月23日執行 朝日町議会議員補欠選挙開票結果  
投票率…45.25%

	候補者名	党派	新現元別	得票数
当選	柴田 きくお	無所属	元	1,671
次点	熊谷 信弘	無所属	新	801



22人の除雪オペレーターへ辞令交付

これから訪れる冬本番に向けて、12月1日に今年度の除雪オペレーター22人へ辞令が交付されました。

今年度の除雪計画の総延長は、254キロ。そのうち、町が実施する町道分は174キロに及びます。この広範囲にわたるエリアを、除雪ドーザ12台、小型ロータリ除雪車4台等、合計18台でカバーし、冬期間の交通網の確保に努めます。今年度の除雪隊員は次の方々です。

渡辺勝男(運転長:元町)、佐久間貢一(副運転長:栗木沢)、大竹史之(副運転長:大隅)、志藤清市郎(川通)、鈴木長兵衛(真中)、小野幸浩(大谷三)、白田和寛(栗木沢)、伊藤強(山辺町)、布施雅晴(助ノ巻)、鈴木初雄(松程)、鈴木進(助ノ巻)、佐藤正樹(平)、伊藤五三雄(能中)、鈴木穰治(助ノ巻)、チェ・ジョンパル(古榎)、堀吉和(大谷七)、菅井均(沼向)、五十嵐實(中沢)、志藤義彦(能中)、佐久間裕輔(栗木沢)、志藤靖則(能中)、佐藤亮二(新宿)



日本一りんごのふるさと朝日町

「りんごは大地と太陽の恵み。これに農家が手助けをして、おいしいりんごになるんだよ。」

十二月二日。千葉県流山市江戸川台小学校で五年生を対象にした「りんご教室」がありました。この言葉はその時、朝日町りんごアドバイザー井澤壽一さんが言った言葉です。

今年で三年目となる流山市での「りんご教室」。町のりんご生産者の皆さん

の協力のもと、都会の子どもたちにも朝日町のおいしいりんごを小さい時から知ってもらい、一人でも多くの皆さんから、朝日町のりんごを好きになってもらおうという考えから行っている事業です。同市の小学校の校長先生を務められ、現在夏草にお住まいになられている加藤正さんのご紹介と、そしてこれを快く引き受けていただいた市と教育委員会の皆さんのご協力があった初めて実現した事業であります。両方々に心から感謝・御礼申し上げます。

さて、りんご教室に同席していた私も、五年生の皆さんと一緒に話を聞きながら、この言葉を耳にしました。その瞬間、電撃が私の背中を突き抜けたような、強い衝撃を受けました。それまで私は、りんごは作るもの、産物として作り上げられるものと考えていました。

「大地と太陽の恵み」この恵みに感謝し、手助けをしながら、大切に大切に育て上げられた結果が、日本一の朝日町のりんごなのだ、あらためて考えさせられた「りんご教室」でありました。

「おいしくなれ」「立派になれ」と心を込めて育て上げられた日本一のりんご。一人でも多くの方々に喜んでもらえるように、これから益々町上げて全力で取り組んでまいります。

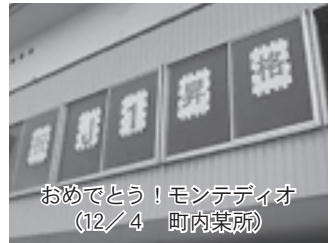
朝日町長 鈴木浩彦



風船のプレゼントももらったよ  
(12/6 クリスマス子どものつどい)

# まちの話題

ここで紹介した情報以外にも、ホームページ内「まちの写真館」には写真がいっぱい。見てね！



おめでとう！モンテディオ  
(12/4 町内薬所)

## りんごキャンペーン (11月18日～19日／仙台市勾当台公園・山形銀行仙台支店前 26～27日／山形銀行本店前)

### おいしい朝日町の「無袋ふじ」をPR



「無袋ふじ」リンゴをPRするキャンペーンが11月26日・27日の両日、山形市の山形銀行本店前で行われました。



13回目を迎えたこのキャンペーンは、仙台市での開催も含め4日間で店頭販売用のリンゴ計5トンを用意。

また、国産ワインコンクールで最優秀カテゴリー賞に輝いた朝日町ワインやハチミツ、凍みもち、漬物なども販売され、朝日町自慢の「うまいも

の」が勢ぞろいしました。天候に恵まれ、蜜がたっぷり入った完熟「無袋ふじ」は5個入り一袋500円の特別価格で販売され、買い物客らは味を確かめながら、つぎつぎと買い求めていました。

26日にはオープニングセレモニーが行われ、高橋康則副町長が「無袋ふじやワイン、棚田米など朝日町にはおいしい食べ物がたくさんあります。ぜひおいでください」とあいさつ。先着100人にリンゴをプレゼントし、「おいしい朝日町」をPRしました。



↑ 仙台でのキャンペーンにも多くの方々を訪れました

## 「楽笑楽生こうざ」ベーコンづくり (11月22日・30日／西部公民館)

### 人生を楽しく、笑いながら生きる

11月22日と30日の両日、西部公民館でベーコンづくり教室が開催されました。

これは「人生を楽しく笑いながら生きる」ことをテーマにした西部公民館主催の「楽笑楽生こうざ」の一環。生活に役立つ知識を身につける講座として今年から始まったもので、10月からの「ストレッチ講座」に次いで2回目の事業です。



22日には豚肉の味付けなどの仕込み作業、30日

には段ボール製の簡易な「いぶし室」を使った乾燥・薫煙作業を実施。その結果、うま味たっぷりのジューシーなベーコンが出来上がりました。

参加者の一人は「仕込みから1週間、肉に味を染み込ませるため、1日おきに表裏を返ししながら自宅の冷蔵庫で保存していました。そのせいもあってか、だんだん我が子のような愛着がわき、ベーコンの味に『心の味』が加わったような気がします。食べるのがもったいないですね」と感想を語っていました。



## りんごなどを求めに5,000人が訪れる

29回目を迎える朝日町産業まつりが11月15日から16日にかけて町民体育館を主会場に開催されました。同まつりは年に一度、町内の産業が一堂に会し軒を並べる一大イベントです。

町民体育館脇の駐車場には所狭しと臨時直売所のテントが。町内の物産品のほか、昔懐かしい「米ばくだん・ポンせんべい」コーナー、町内の若者サークル「アットホーム」の皆さんによる足湯コーナーなども設置され、過去最高となる5,000人の来場者が県内外から訪れました。

なお、まつりに合わせて行われた優秀技能表彰では次の方々がそれぞれ表彰されました。【敬称略】

■町表彰／岸和雄（西町）…大工として46年間業務に精励、海野正道（八ツ沼）…塗装工として40年間業務に精励、渡邊富士子（宇津野）…美容師として35年間業務に精励、佐藤れい子（小原）…美容師として33年間業務に精励

■事業振興協議会会長表彰／大井洋二（㈱ニクニアサヒ工場／西船渡）、長岡圭子（㈱アサヒ技研／太郎一）、村山裕司（村山建設㈱／太郎一）、鈴木義弘（大東建設㈱／寒河江市）、長岡秀美（㈱朝日相扶製作所／太郎一）



好評だった足湯コーナー



ポンせんべいコーナー



第28回朝日町りんご品評会  
(出品数91点)

▼最優秀賞／川口幸次郎（大暮山）▼優秀賞／渡辺達美（古楨）▼金賞1席／海野清一（八ツ沼）▼金賞2席／阿部好弘（夏草）▼金賞3席／鈴木和夫（大隅）▼銀賞／堀敏男（大谷七）、志藤宜徳（川通）、吉村裕（八ツ沼）、鈴木孝幸（真中）、阿部喜栄治（大暮山）▼銅賞／菅井英幸（沼向）、成原誠（新宿）、五十嵐敦（中沢）、布施栄五郎（松程）、村山茂雄（大谷七）、阿部孝晴（松程）、佐竹正行（八ツ沼）、佐竹充広（八ツ沼）、菅井孝啓（沼向）、白田昭広（常盤）  
※銀賞・銅賞は出品番号順、敬称略

## 菜の花シンポジウム (11月16日／創遊館)

### ecoな観光資源につなげよう



11月16日創遊館ホールで「菜の花シンポジウムin朝日町」が開催されました。

これは昨年からはまった「水本菜の花プロジェクト」のPRの一環。社会全体で資源を再利用する仕組みを実践し「地球にやさしい町づくり」

についてみんなで考えることを目的にしています。

シンポジウムに先立ち、(社)山形県トラック協会から今年とれた菜種油約15キロが町に贈呈。続いて菜の花プロジェクトネットワーク(滋賀県)代表の藤井絢子氏が「菜の花ネットワークが地球を救う」と題し講演。その後、パネルディスカッションも実施され、プロジェクトが今後発展するため

の方策について、いろいろな意見が出されました。

町産業振興課の担当者は「地域と企業(協会)と行政が一体となった取組みは、中山間地では特に必要であり、継続していくことが重要です。このような取組みが今後各地に広がり、地区の活性化につながるよう、町として支援していきたいと思います。この取組みを通じて町内外からの交流が生まれ、新たな町の観光資源『ecoな観光』に育ってほしいですね」と語りました。

(菜の花プロジェクト詳細については「広報あさひまち9月号」2～3頁をご覧ください)



## 同級生を亡くした悲しみを乗り越え、みんなで生きる姿を描く

第58回全国小・中学生作文コンクール（主催：読売新聞社）の山形県審査会において、西五百川小2年の阿部みちるさん（松程）の作品「ひろくん、ずっと、ずっと友だちだよ」が小学生の部で最優秀賞に選ばれました。



この作品は、今年4月に同級生「ひろくん」を亡くしたことを題材に、その悲しみと、その後の学校生活を描いたもの。亡くなった後も、ひろくんと一緒に学校生活を送っている同級生12人の様子が、みちるさんならではの想いのこもった表現で綴られています。

原稿用紙10枚にわたる、みちるさんの、そしてクラス全員の思いが詰まった作品。その一部を紹介します。



「ひろくん、ずっと、ずっと友だちだよ」同級生の皆さん

・・・でも、ひろくんがいなくても、朝のけんこうかんさつで、ひろくんの名前をよんで、「ひろくん、今日も1日よろしくね」と話しかけています。きゅうしょくを食べるときは、雪なちゃんたちがひろくんのつくえをあわせてくれます。2年生のおたよりの名前は「友だち」にしました。ひろくんとはなれていても、みんなずっと友だちだからです。

みずきちゃんは、友だちがけんかしそうになったとき、

「ひろくんがかなしむよ。ひろくんはいつもここにこしていたんだから、なかよくしてね」と言ってくれました。

きゅうしょくで「ごちそうさま」と「いただきます」をまちがえていってわらっちゃったときも、「ひろくんも、おそらでわらってくれたかなあ」といいました。わたしは、ひろくんもおかしくてわらっただろうなと思いました。

さくらの花びらがひらひらとおちてきたときも、みずきちゃんは、

「ひろくんは、スキーがすきだったから、さくらの雪がふってきたんだ」っていいました。

それに、べんきょうをしている時も、「ひろくんも、空でべんきょうしているね」と言いました。わたしもがんばってべんきょうしなくちゃと思いました・・・

### 最上川の文化的景観出前講座（11月28日／大谷小学校）

## 身近な最上川の価値を見直す



11月28日、大谷小学校で「最上川の文化的景観」の「出前講座」が開催されました。

この講座は、現在県がすすめている同景観の世界遺産登録運動の一環として、主に小中学校の総合学習の時間を対象に開催されているもの。県の担当者が年間約40校ほどを訪れ、そのPRに努めています。

この日は県教育庁文化遺産課の半田晃章氏が講師を務め、明鏡橋付近に見られる「舟道跡」や榎平の棚田など、大谷小の近くにある構成資産を紹介しながら「最上川」の文化的価値を説明。4年生から6年生までの48人がそのすばらしさを改めて学びました。



## 3歳児の約半数がむし歯なし

今年のむし歯ゼロ賞の表彰式が11月15日開発センターで開催され、3歳児健診でむし歯のなかった子どもたち28人に対し、町長から賞状と記念品が贈られました。3歳児全体の約半数にあたる子どもたちです。

子どもたちは、賞状を手にする、「ありがとう」と元気な声であいさつ。参加した保護者は、「これからも歯みがきを頑張ろうね」と声をかけ、受賞を喜んでいました。

## 第29回女性まつり

(12月7日／創遊館)



## 1年間学んだ集大成を披露

女性文化教室で1年間学んできた成果を披露する「女性まつり」が12月7日創遊館を会場に開催されました。

学習意欲旺盛な女性の方々の祭典とも言えるこの行事。今年度は11講座に総勢277人が学びました。

参加者の一人は、「趣味の講座とはいえ、目標を持って学ぶことに意義があると思います。その点では、年に1回のこの女性まつりがあるからこそがんばれるような気がしますね」と自身の作品を手にしながらかけていました。

## クリスマスこどものつどい

(12月6日／創遊館)



## クリスマスにちなんだ人形劇を楽しむ

おはなし会ぶなの実の皆さんが主催する「クリスマスこどものつどい」が12月6日創遊館で開催され、約30人の子どもたちが多彩な人形劇を楽しみました。

この日上演されたのは「赤鼻のトナカイ」「ゆかいなサンタパーティー」などクリスマスにちなんだものが中心。特別出演として「ぐう・ちよき・ぱあ（山形市）」による「三つ子のこぶたのものがたり」も上演され、子どもたちはいきいきとした人形が描く物語を楽しそうに鑑賞していました。

## 恐竜の背中みたい・・・？

このほど、一般県道宮宿浮島線の五百川橋に三角形の「滞雪防止板」が設置されました。これはその名のとおり、トラス（骨組み）の上に雪がたまらないようにするモノ。平らな屋上に、屋根を付けたイメージでしょうか。

これまでは、トラスに雪が積もり、落雪による事故が起きていました。今後は、このような事故が起きない安全な橋となることと思います。



橋の上からの落雪を防ぎます!

# みんなの ひろば



## 今輝いて



「東北大会出場！」という情報を耳にし、6人が学ぶ西船渡教室へ取材。はじめに見た雰囲気から、皆さんさぞベテランと思いきや、意外にも若手。聞くと、教室の発足自体が5年ほど

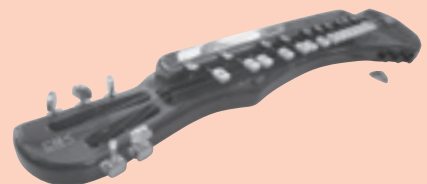
「琴城流」という同じ流派に所属する朝日町の3つの大正琴教室（宮宿さくら教室、西五百川教室、西船渡教室）。このほど11月26日から27日に岩手県で開催された「第27回琴城流大正琴演奏会東北地区本部大正琴演奏会」へ3教室の皆さんがそろって出場しました。

「東北大会への出場は、山形県に多数ある教室の中から、毎年いくつかの教室しか出場できない、いわば数年に一回の大舞台。参加した一人は「みんなとリズムを合わせて弾けるように、家

前で、皆さんのキャリアも同様のことでした。発足のきっかけについて、峯田初子さん（西船渡）は「数年前、夫を亡くして、毎日を寂しく過ごしていた頃、さくら教室の友人に誘われて始めました。その後、西船渡の近所の方々に声掛けし、この教室が発足。大正琴そのものの魅力もそうですが、友人と集まってお茶を飲んだり、語り合ったりと、楽しく、ボケ防止にやってみると、楽（笑）」と語ってくれました。宮宿さくら教室も発足5年、西五百川教室も10年程度と、3教室ともに比較的新しい教室とのことです。

きんじょう  
《琴城流大正琴》  
宮宿さくら教室  
(阿部京子代表/会員8人)  
西五百川教室  
(長岡さく代表/会員7人)  
西船渡教室  
(鈴木ユキコ代表/会員6人)  
の皆さん

大正琴とは、木製中空の胴に2～12本の金属弦を張り、簡単な鍵盤（キー）を備え、鍵盤を左手で押さえて右手の義甲（ピック）で弾いて演奏する、琴（弦楽器）のことをいう。文字通り大正時代に発明されたもので、初心者でも正確に音を出すことができるなど、比較的簡単に演奏可能であるため、家庭用楽器として普及している。



西船渡教室の皆さん

に帰ってからも練習しました。その成果が出たのか、大会では上手に弾けました。いい思い出になります」と語っていました。また、大会では80歳以上の方々を顕彰する高齢者表彰も行われ、山形県全体で6人のうち、朝日町から5人の方々が受賞しました。教室は違えど、目標・目的は同じ。鍵盤と譜面を交互に、そして一生懸命追う姿に、生涯学習の本質を教えてくださいました。

# 家族

新宿 関根 寛敏 さん  
愛 さん  
もえ ちゃん  
萌 さき ちゃん  
咲 ちゃん



福島県出身の寛敏さん。東北芸術工科大学（山形市）の1期生としてデザインを学んだあと、町内企業に就職。その後、縁あって愛さんと出会い、平成13年に結婚。2人の子どもにも恵まれ、現在は町内に新築したマイホームに暮らしています。

「子どもが年子なせいか、お互い負けん気が強く、何でも真似したがるんです」と語る愛さん。「洋服の取り合いも頻繁！先日、上の子（萌ちゃん）の七五三をしたときも、下の子（咲ちゃん）から『同じものを着たい!』とせがまれて……。結局二人一緒に済ませてしまいました」と苦笑いで語りました。

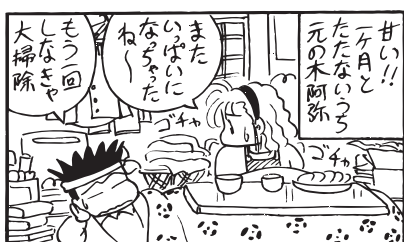
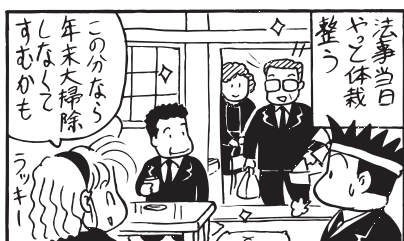
休日は散歩に出かけることが多いというご家族。中でもお気に入りには、愛さんの実家がある八ツ沼周辺の散策。「春日沼で釣りを楽しんだり、自転車の練習をしたり、きれいなハスの花を見に行ったり……。のどが渴いたときには五本樋で水を飲んだり、いろいろ楽しみましたね」と語ってくれました。

「平日は帰りが遅い日が多く、あまりオヤジ業はできてなくて……。嫁さんに感謝です」と語る寛敏さんに対し、「週末はちゃんと遊んでくれるし、お互いできることをしていけばいいんじゃない」と声をかける愛さん。互いを理解し合う姿が印象的なご夫婦。可愛いお子さんとともに温かなご家族でした。

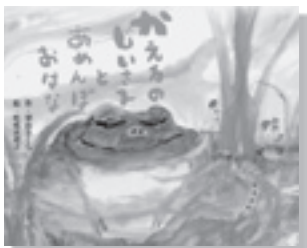
## とないのリンゴせん

(211)

ホリイ



腹の足しにもならないと知りながら、  
ついついあめんぼを食べってしまったかえ  
るのじいさま。すると、じいさまの名を  
呼ぶ小さな声が  
聞こえて……。あ  
めんぼ夫婦を  
食べたかえると、  
両親を食べられ  
たあめんぼの子  
どもの切ないお  
話。



第19回ひろすけ童話賞受賞作  
「かえるのじいさまとあめんぼおはな」  
深山さくら 作／松成真理子 絵



「天地人を歩く」火坂 雅志 著  
来年のNHK大河ドラマ「天地人」の  
原作者による歴史紀行。直江兼統生誕の  
地である魚沼から晩年を過ごした米沢ま  
で、その生涯に沿って人物像、歴史背景  
を描きながら各史跡を廻る。

## 町立図書館おすすめ 今月話題の本

郷土出版コーナー

「迎え火やさあさあ  
囚五万の霊―俳句とエッセイ―」

阿部宗一郎 著

迎え火や  
さあさあ  
囚五万

阿部宗一郎著

- ▼あげくの果て／曾根圭介
- ▼アイスクリン強し／畠中恵
- ▼寂聴と読む源氏物語／瀬戸内寂聴
- ▼新三河物語下巻／宮城谷昌光
- ▼白雨／北原亞以子
- ▼ガリレオの苦悩／東野圭吾
- ▼聖女の救済／東野圭吾
- ▼激流中国／NHKスペシャル取材班
- ▼正義で地球は救えない／池田清彦
- ▼ブラックマネー／須田慎一郎
- ▼国を変えろ／猪瀬直樹
- ▼ヨーロッパ環境対策最前線／片野優
- ▼真説・外道の潮騒／町田康
- ▼とんび／重松清 ほか

ブックテーマコーナー…クリスマス&お正月

## みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、質問、提案などお待ちしております。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地  
朝日町役場 政策推進課 地域情報係  
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)

■Eメール／inform@town.asahi.yamagata.jp

■URL／http://www.town.asahi.yamagata.jp

■観光情報のメール配信登録（右のQRコードを読み込み、「件名」に配信申し込み、「本文」に①氏名、②性別、③都道府県名④市町村名(地区名)を入力し、送信。

## 町民の

# 声



### 選挙結果の更新はタイムリーに

**問** 先日、町議会議員補欠選挙がありました。ホームページの更新が遅いと思いました。

結果はみんなが気にしていますので、早めの更新をお願いします。

**【町ホームページ「朝日町議会議員補欠選挙投票結果」への書込み】**

**答** 今回の選挙については、午後9時から開票作業をスタートし、午後9時55分に開票結果が確定しました。それを受け、午後10時10分にホームページにその内容を更新しています。今後とも可能な限り迅速な対応をとっていききたい考えです。

### 【選挙管理委員会】



### ホームページで西村山地区駅伝での朝日町チームの活躍を見ました！

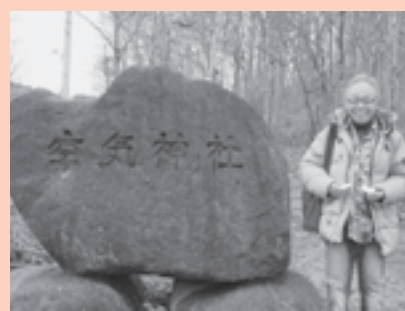
**た** またま拝見したこのサイト。写真から選手の一致団結している様子が伝わってきて、大変爽やかないい気持ちになりました。学生の皆さんも社会人の皆さんも、これからも朝日町の大自然の中で生き生きと輝いてください。

**暗** い話題が多い中、明るい話題に嬉しく思いました。選手のみなさん、スタッフのみなさんお疲れ様でした。

**【町ホームページ「町の写真館」コーナー「5年ぶり20回目の優勝！朝日町チーム（第55回西村山地区駅伝競走大会）」への書込み】**

**心** あたたまるエールを頂戴し嬉しく思います。選手たちも尚一層精進しなければと、昼夜問わず練習に励んでいるところです。

さて、駅伝大会も、町民に最も身近な大会「アップル駅伝」、そして「西村



### 歌手の谷村新司さんが空気神社を訪問しました

11月18日早朝、テレビ番組の収録のため、空気神社を訪問。そのすばらしさに感動されていました。また、収録後には蜜入りりんごも振る舞われ、朝日町の匂を味わっていました。

※番組は関東方面限定のため、山形での放送予定はありません。

### 朝日町の方々が多方面で活躍！各種コンクール等

■第28回全国中学生人権作文コンテスト山形県大会

▼優秀賞：阿部円香（朝日中3年）「人の痛みを感じて」

▼寒河江人権擁護委員協議会奨励賞：川村梨乃（同）「『違い』はあるけれど」

▼若月未来（同）「ある掲示板から学ぶ」

■平成20年度山形県小学生人権書道コンテスト

▼入選：遠藤優佳（大谷小6年）

▼寒河江人権擁護委員協議会奨励賞：朽木瑠佳（西五百川小5年）

・佐藤真澄（宮宿小6年）

■平成20年度中学生の「税の作文」

▼山形県納税貯蓄組合連合



平成20年(2008年)

■11月1日～11月30日届出



### すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
西原	酒井 恵太郎 <small>けいたろう</small>	男	正勝・友実



### おしあわせに

清野 大輝 (小原)		今井 美穂 (寒河江市)
大谷 順一 (大谷五)		柏倉 敦子 (大江町)
鈴木 謙次郎 (大江町)		布施 奈々恵 (助ノ巻)



### やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
大沼	小林 みのゑ	孝
舟渡	遠藤 ふく	幸 男
宿	鈴木 たまゑ	幸 雄
夏草	阿部 幸二郎	寿 幸
能中	伊藤 きちの	廣 瀬
前田	熊谷 虎之助	喜美夫
立木	清野 小一郎	賢一郎
大谷六	白田 常松	嘉 藏
大暮山	海野 イマエ	昭 二
大谷三	白田 つねよ	源太郎
栗木沢	遠藤 みつ江	俊 晴

掲載を希望しない方は、届け出の際にお申し付けください。

## 人口と世帯数

●平成20年11月30日現在

人口	8,380人(減13)
男	4,158人(減6)
女	4,222人(減7)
世帯数	2,543世帯(増1)

( )内 前月比

## きょうの健康・あしたの健康

### こころ元気にいきる ～高齢者のこころの健康づくり～

「別れ」が多い高齢期はうつに要注意

配偶者や友人との死別など、喪失感を抱きやすい高齢期は「うつ」状態になりやすい時期です。うつになると活動が減るため、衰弱の悪循環に陥りやすく、最も注意が必要な「病気」の一つです。



#### ■高齢期のうつの特徴

- ①気持ちに変化がなくとも、身体に様々な異変がでることがあります。
- ②認知症と間違われることがあります。
- ③大病の後に発症する事があります。
- ④うつになると、心筋梗塞、骨粗鬆症、感染症、認知症になりやすく、介護が必要な状態になりやすくなります。

#### ■うつの治療は？周囲の対応は？

うつ病はきちんとした治療により回復します。治療では、抗うつ薬の服用が必要になります。最近では高齢者にも適した副作用の少ない抗うつ薬も普及し、大きな効果をあげています。そのためにも、早期発見、早期治療が重要です。また、周囲の人達の気遣いとして、本人の話に耳を傾け相手を受け入れようと接する心がけが大切です。安易な励ましや元気づけは、本人の負担になるため注意が必要となります。

#### ■地域におけるうつ病の予防は？

高齢者自身が趣味や生きがいを持ち続け、閉じこもりや孤独にならないよう配慮することが大切です。高齢者がいきいきと生活できる事を支援する全ての活動(長寿クラブや元気クラブなど)が、地域における高齢者の心の健康づくりといえます。

#### ■問合せ先

健康福祉課地域包括支援センター

電話 67-2156

- ③ フライイング
- ① 北友会 ② メタボフレンズ
- 第37回町民バレーボール大会(11月9日/町民体育館、参加チーム数5チーム)
- 「『税』と暮らし」
- 平成20年度高校生の「税の作文」
- ▼ 寒河江税務署長賞：長岡 亜由美(左沢高校3年)
- ▼ 乃(同)「本当の納税」
- ▼ 寒河江税務署長賞：川村梨乃(同)
- ▼ 「知ろう」とすること」
- 賞：村山瑞貴(同) 「税を
- 区納税貯蓄組合連合会会長
- ろうとする心」▼ 西村山地
- 中3年) 「ありがとうと知
- 会会長賞：鈴木希望(朝日

# わたしの作品



第50回こども県展 県展賞(最高賞)受賞作品

## 「くらげさんとラッコさんなかよし」



白田 知里<sup>ちさと</sup>さん  
(大谷小2年/大谷一)

コップに絵の具を溶かし、それに台所用洗剤を入れて、ストローで吹き、できた泡を画用紙に落としました。赤、青、黄の3色を使い、自然にできた模様を、クレヨンでなぞりました。

「泡をつくるのが楽しかったです」と語る知里さん。審査員によれば、「自分の感覚や行為を通して形を見つけ、(この)絵が生まれた」とのこと。3色のきれいな色づかいや「くらげとラッコ」という獨創性に富んだ発想に、多くの方々が感心していました。

## 春夏秋冬

編集後記

まず自分の住む地域  
を知ること  
歴史もまちづくりも  
共通です

小さい頃から「歴史」が好きでした。高校では「世界史」を選択(当時は必修ではない)し、大学でも「西洋史」を専攻しました。卒業後役場に奉職し、最初の配属先となったのが生涯学習課(現在の教育文化課)。仕事上、町史編さん室の先生方と話をする機会が多々ありましたが、その中で気づかされたこと。それは自分が「全く足元を見ていなかったな…」ということ。日本、山形県、朝日町とい

った、自分が住む地域の歴史もろくに知らずに、背伸びして世界のことを知ろうとしていた自分。恥ずかしい限りでした。来年はいよいよNHK大河ドラマ「天地人」が始まります。大河ドラマで陪臣(家臣の家臣の意/豊臣秀吉↓上杉景勝↓直江兼統)が主人公というのは初めてです。山形ゆかりの武将を通じて地域に関する知識を深めたいですね。

佐久間 淳